

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

外苑西通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」と歩いてきました。

今回は「外苑西通り」を歩いています。写真上右は外苑西通りの道路名標識（都道418号線）です。外苑西通りは新宿区富久町の富久町西交差点を起点に、港区白金台五丁目の白金台交差点に至る延長約7kmの道です。1964年（昭和39年）東京オリンピック前に整備され、1984年（昭和59年）外苑西通りの名になりました。神宮外苑の西側を通り、目黒通りと靖国通りを結ぶ南北方向の道です。前回は起点の新宿区富久町西交差点から港区南青山三丁目交差点まで歩きました。

今回は南青山三丁目交差点から終点の白金台五丁目の白金台交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔南青山三丁目交差点〕 港区南青山三丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 外苑前駅

南青山三丁目交差点（写真下左）で青山通り（国道246号線）と交差します。青山通りは今まで歩いてきた道とは少し雰囲気が違う気がしました。左へ行くと三宅坂方面、右へ行くと渋谷方面です。

外苑西通りは直進して天現寺方面へ向かいます。



[青山橋] 港区南青山四丁目 最寄駅 東京メトロ銀座線 表参道駅

しばらく行くと左側一帯は青山霊園（写真下左）です。広い敷地なのでところどころに墓地に上がる階段がありました。青山橋（写真下右）をくぐります。青山橋は右側の根津美術館方面から来て、青山霊園に入る道にあります。



次の交差点で外苑西通りは直進しますが、左折すると信濃町方面に向かう道（写真下右）となります。交差点名の表示はありませんでした。この交差点を左折すると青山霊園下（墓地下）に行けます。



〔青山霊園〕 港区南青山二丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 乃木坂駅

青山霊園の入口です（写真下左右）。東京の有数な桜の名所でにぎわいます。



青山霊園は1874年（明治7年）美濃郡上藩（現在の岐阜県郡上市）藩主 青山家の下屋敷を東京府が引き継ぎ、公営墓地を開設しました。ビル街にありながら面積は約26万平方メートルあります。明治維新の功労者や政官界人、軍人、文化人、芸術家の墓地が多くあります。写真左は桜の季節に撮りました。

〔西麻布交差点〕 港区西麻布一丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 六本木駅

外苑西通りに戻り、進むと西麻布交差点（写真下右）です。



西麻布交差点で六本木通り（都道 412 号線）と交差します。左へ行くと六本木・溜池方面、右へ行くと渋谷方面です。寅次郎、西麻布交差点を右に行った高樹町のビルに勤務していたので懐かしい交差点です。昔、訪問したいくつかのお店が健在でした。

〔広尾橋交差点〕

港区南麻布四丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 広尾駅



写真左が広尾橋交差点です。左へ行くと有栖川宮公園があります。公園脇には南部坂がありますが、忠臣蔵に登場の南部坂は赤坂にあります。こちらも赤坂から移ってきた盛岡藩主の南部家の屋敷があったため名づけられました。

〔有栖川宮公園〕

港区南麻布五丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 広尾駅



折角なので立ち寄りしました。盛岡藩主の下屋敷が 1896 年（明治 29 年）有栖川宮御用地、1913 年（大正 2 年）高松宮御用地になりました。1934 年（昭和 9 年）故有栖川宮の御命日に公園地として賜与され、有栖川宮公園として開園されました。

〔天現寺交差点〕

渋谷区広尾五丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 広尾駅

外苑西通りに戻ります。天現寺交差点（写真下右）で明治通りと交差します。左へ行くと古川橋方面、右へ行くと渋谷方面です。大きな交差点なので歩道橋（写真下右）を渡り、直進します。天現寺交差点は渋谷区と港区の境です。



[清流の復活]

天現寺交差点の歩道橋を下りると左下に「清流の復活」の碑（写真下左）があります。明治通りでも紹介しましたが、再度紹介します。渋谷川・古川は渋谷駅付近から渋谷区と港区の境までの区間を渋谷川といい、港区に入ると古川と名前を変えて芝公園に沿って流れ、旧芝離宮恩賜庭園付近で東京湾にそそいでいます。渋谷川は昭和の初めごろまでは灌漑の水源として、古川は小舟の舟運に利用されてきましたが、都市化の進展や陸上交通の発展と共に川の利用状況が大きく変化し、水質の悪化や水量の減少が見られました。1995年（平成7年）3月より東京都では清流復活事業を実施し、渋谷川・古川で清流の復活を行いました。この清流は新宿区上落合にある落合水再生センターで高度処理した再生水を利用しています（写真下右）。



清流の先には慶應義塾幼稚舎（写真左）がありました。幼稚舎とは小学校のことで卒業すると中学（男子校の普通部、共学の中等部）・高校（男子校・女子校）を経て慶應義塾大学へエスカレーターで進学出来る有名小学校です。大学の希望学部へは成績が伴いますが。

[恵比寿三丁目交差点] 港区恵比寿三丁目 最寄駅 JR恵比寿駅



恵比寿三丁目交差点（写真左）を左へ行くと白金方面、右へ行くとJR恵比寿駅です。

外苑西通りは次の信号で左折、高速道路目黒線（写真下右）をくぐり、プラチナ通り（都道418号線）になります。同じ名の都道418号線は直進して五反田・目黒方面に向かいます。



[プラチナ通りー1]

プラチナ通りは今までと違った雰囲気の道でした。



[東京大学医科研病院]

左側に東京大学医科研病院の看板がありました。東京大学の医科学研究所と附属病院です。写真下左は門、写真下右は門内を外から撮影しました。

目黒通りからの門が正門のようです。



[プラチナ通りー2]

道の両側は高級感あふれるお店があります。



写真左は昔、来たことのあるイタリア料理のお店です。ディナーではなくランチでしたが、内部はお城のような造りでした。

[白金台交差点] 港区白金台五丁目

最寄駅 都営地下鉄 三田線 白金台駅

目黒通りと交差する外苑西通りの終点白金台交差点（写真下左）です。右側には国立自然教育園があります。寅さん歩 416 目黒通りー1 で国立自然教育園と東京大学医科研病院をご覧ください。



これにて外苑西通りを起点から終点まで歩きました。新宿区・渋谷区・港区と都心の中心部ですが落ち着いた地域でした。変化があり、見所もたくさんありました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2022 年 9 月 10 日登米（現在の宮城県登米市）（江戸深川から 674 km）を通過しました。

これから一の関・平泉へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝

